

(課題名) 脳血管障害の包括的臨床研究 について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

脳卒中は、わが国における要介護原因疾患の第一位、死因の第三位を占めており、診断・治療技術の発展が期待されています。脳卒中は脳梗塞・脳出血・くも膜下出血に大別されますが、その原因や特徴は様々です。また未破裂脳動脈瘤や内頸動脈狭窄症などの無症候性疾患も、将来的に脳卒中を発症する危険性があり、予防的治療の発展が求められています。これら脳血管障害の臨床・画像的特徴や治療内容・予後を包括的に研究することで、診断・治療技術の向上とともに、脳血管障害患者の予後改善につながることを期待されます。

【対象】

当院脳神経外科で診療を受けたすべての脳血管障害患者さんを対象といたします。

【情報の利用目的及び利用方法】

脳卒中は、わが国における要介護原因疾患の第一位、死因の第三位を占め、診断・治療技術の発展が重要といえる疾患群です。脳卒中は脳梗塞・脳出血・くも膜下出血に大別されますが、その原因は多岐にわたり、その臨床像・画像的特徴も多彩です。また未破裂脳動脈瘤や内頸動脈狭窄症などの無症候性病変も、将来的に脳卒中を発症する危険性があり、予防的治療の発展が求められております。これら脳血管障害の臨床・画像的特徴や治療内容・予後を包括的に研究することが目的です。

当院脳神経外科で診療を受けたすべての脳血管障害患者と対象とし、通常の医療において取得された（取得される予定の）診療情報を用います。

【調査項目】

通常の医療において取得された診療情報（診療録・血液検査・画像検査・生理学的検査・病理学的検査・脳血管撮影・手術動画）を用い、統計学的に解析いたします。

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】

西暦 1996 年 4 月 1 日 ～ 西暦 2023 年 4 月 30 日

【利用する者の範囲】

豊田 真吾、小林 真紀、村上 知義、阿知波 孝宗、山田 修平、星隈 悠平、高原
在英、東原 一浩、奥波羅 秀企

【試料・情報の管理について責任を有する者】

豊田真吾

【研究期間】

実施許可日から 2024 年 12 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究機関・組織】

関西労災病院 脳神経外科

【研究代表者】【研究事務局】

【当院の研究責任者】

豊田真吾

関西労災病院 脳神経外科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221（代表）

FAX: 06-6419-1870（代表）

E-mail: stshto@aol.com